



プレスリリース

2021 年 1 月 4 日
フィリップ モリス ジャパン合同会社

「ヒーツ™」から発売以降約 2 年ぶりのレギュラー製品 ヒーツ・ピュア・ティークを新発売 2021 年 1 月 4 日(月)より発売開始

フィリップ モリス ジャパン合同会社(本社:東京都千代田区、社長:シェリー・ゴー、以下「PMJ」又は「当社」)は、加熱式たばこ「IQOS(アイコス)」専用たばこスティックの「ヒーツ(HEETS)」から「ヒーツ・ピュア・ティーク」を IQOS オンラインストア、全国 9 店舗の IQOS ストア、ヤマダ電機、ドン・キホーテの一部店舗で、2021 年 1 月 4 日(月)から発売開始し、2021 年 1 月 11 日(月)からコンビニエンスストアを含む、全国の主要たばこ取扱店で発売いたします。

PMJ のマーケティング & コミュニケーションズ・ディレクターであるフィリップ・ルベルは、今回の発表に際し、以下のよう述べています。

「この度、『ヒーツ』発売以降、約 2 年^{※1} ぶりに新たな銘柄『ヒーツ・ピュア・ティーク』がレギュラーの味わいに加わりました。新しく IQOS を使用されるユーザーのうち、半数以上のレギュラーテイストを求める声があるとわかり^{※2}、こうした成人喫煙者の声に答えるべく、この『ヒーツ・ピュア・ティーク』の発売に踏み切りました。

『ヒーツ・ピュア・ティーク』は、クセのない味わいのバランスの中にも、たばこ本来の味わいを重視した絶妙なやさしい味わいになっており、ほどよい強さでレギュラーの味わいを求めるお客様におすすめの銘柄です。これにより『ヒーツ』シリーズは全 9 銘柄に、そのうちレギュラーテイストは全 4 銘柄となりました。本製品は成人喫煙者の嗜好に合った、さらなる味わいと満足感を提供できると期待しています。

2021 年も引き続き『煙のない社会』の実現を目指して、より多くの成人喫煙者の方に手に取っていただけるよう、煙の出ない製品の提供を進めてまいります」

※1 2021 年 1 月時点 ※2 自社調べ

製品の詳細は、次頁以降をご参照ください。

報道関係者用問い合わせ先

フィリップ モリス ジャパン合同会社 広報事務局(電通 PR 内)
柏木 TEL 080 2395 9506 MAIL masahiko.kashiwagi@dentsu-pr.co.jp
阪口 TEL 080 2585 6265 MAIL tomoko.sakaguchi@dentsu-pr.co.jp

ヒーツ™(HEETS)

銘柄名	ヒーツ・ピュア・ティーク
味わい	レギュラー
	やさしい味と香りの絶妙なハーモニー
形状	フィルター付き 45mm
包装／ 価格	20 本入り ボックス／500 円(税込)
発売日/ エリア	<p>2021 年 1 月 4 日(月)</p> <ul style="list-style-type: none"> IQOS オンラインストア 全国 9 店舗の IQOS ストア(札幌、仙台、原宿、銀座、名古屋、梅田、心齋橋、広島、福岡) 全国 30 店舗の IQOS ショップ(ヤマダ電機一部店舗)^{※3} 全国 52 店舗の IQOS コーナー(ドン・キホーテ系列一部店舗)^{※3} <p>※3 2020 年 12 月 10 日時点</p> <p>2021 年 1 月 11 日(月)</p> <ul style="list-style-type: none"> コンビニエンスストアを含む全国の主要たばこ取扱店

IQOS について

IQOS は、専用にブレンドされたたばこ葉を含む専用たばこを加熱して使用する電子機器です。紙巻たばこのたばこ葉は 800 度を超える温度で燃焼し、有害な成分を含む煙が発生します。一方で、IQOS は火を使って燃焼せずに 350 度以下の温度でたばこ葉を加熱させ、火を使わず灰や煙が発生しません。最適な温度で加熱することによって、本来のたばこ葉の味わいを提供します。たばこ葉を燃やさずに加熱するので、紙巻たばこと比較して有害性成分の量が大幅に低減しています。IQOS から発生するものは、煙ではなく、ニコチンを含むベイパーであり、IQOS は成人喫煙者に満足していただける煙の出ない(スモークフリー)製品です。

フィリップ モリス インターナショナル:煙のない社会を目指して

PMJ は、PMI の日本における子会社です。日本で販売される PMI 製品のマーケティング・販売促進活動を行っています。PMJ は 1985 年に日本で営業を開始して以来、着実に成長を遂げ、今日、全国に約 1,900 人の従業員を擁し、日本のたばこ市場で約 34.5%のシェアを有する、加熱式たばこ市場を牽引する日本第 2 位のたばこ会社です(2019 年末現在)。企業ビジョンである「煙のない社会」の実現に向けて、PMJ は紙巻たばこよりも「リスク低減の可能性のある製品」(RRP- Reduced-Risk Products 下記定義参照)を主力に事業活動を加速しています。

PMI は、「煙のない社会」の実現を目指し、今後もたばこ製品を使い続ける成人喫煙者にとって、公衆衛生の観点からの社会全般と様々なステークホルダーにとって意義があり、科学的に立証された代替製品を提供すべく、紙巻たばこ全てを煙の出ない製品へと切替えることを目指し、たばこ業界においてトランスフォーメーション(変革)を推進しています。PMI は、米国以外の地域において、紙巻たばこ、煙の出ない製品と関連する電子機器・アクセサリ類ま

たその他のニコチンを含む製品の製造と販売を行っています。PMI は、FDA(米国食品医薬品局)が「曝露低減たばこ製品」として米国内での販売を許可した IQOS(プラットフォーム 1)のデバイスとたばこスティックに関してライセンス契約を締結しているアルトリア・グループに出荷しています。FDA は、同製品について「曝露低減」のコミュニケーションを付して販売することは、公衆衛生を促進するために妥当であると判断しました。

PMI は、習慣性がありかつリスクフリーではないものの、紙巻たばこを喫煙し続けた場合と比較してより良い選択肢である煙の出ない新しい製品カテゴリーの構築や科学的実証を企業活動の主軸としています。多岐の専門分野にわたる世界有数の製品開発能力や設備、科学的実証能力を有する研究開発センターにより、PMI は、煙の出ない製品が成人喫煙者の好みや厳しい規制条件に合致することすることを目標としています。煙の出ない製品である IQOS 製品群には、加熱式たばこやニコチンを含む e ペイパー製品があります。2020 年 9 月 30 日現在、PMI の加熱式たばこ製品は、IQOS ブランドのもと、世界で 61 の市場における主要都市や全国で展開しており、約 1,170 万人の成人喫煙者が喫煙をやめ、PMI の煙の出ない製品へ切替えたと推定されています。PMI のウェブサイト (www.pmi.com) および PMI サイエンス (www.pmiscience.com) をご覧ください。

RRP (Reduced-Risk Products: リスク低減の可能性のある製品) は、紙巻たばこの喫煙を継続した場合と比較して、同製品に切替えた成人喫煙者にとって害のリスクが少なくなるか、少なくなるが見込まれるか、又は少なくなる可能性のある製品を指すものとして私たちが使用している言葉です。私たちのもとには、開発、科学的評価、市販化といった異なる段階にある様々な RRP が存在します。私たちの RRP はたばこ葉を燃やさないの、発生させるエアロゾル(蒸気)に含まれる有害および有害性成分の量が紙巻たばこの煙に含まれる量と比較して、はるかに少なくなっています。